

「TAKAO KIMONO DAY」プロジェクトの提案

杏林大学 総合政策学部 久野ゼミナール A班

青木萌、大塚秀俊、小田嶋花捺、近藤小百合、俵谷明香、中村雄太郎

1. 企画概要

本企画では、着物会社の協賛のもと、八王子市内の留学生と日本人学生、八王子芸者、高尾山内の施設全従業員が着物を着用して高尾山登山客をもてなす「TAKAO KIMONO DAY」を春と秋に1日ずつ設け、登山のついでに着物やその他和文化に気軽に触れられる山としての国際的な地位を確立することを目的とする。具体的には、ボランティアとして参加する市内の留学生と日本人学生が着物会社からレンタルされる着物を着用し、事前に八王子芸者から遊芸の指導を受けたうえで、「TAKAO KIMONO DAY」には高尾山の山頂や麓の飲食店内において外国人観光客に対して接客を行うとともに、プロの八王子芸者とともに簡単な芸事を披露する時間帯も設け、おもてなしを行う。加えて、外国人向けに、芸者との記念撮影サービスや着物試着サービスなども提供する。「TAKAO KIMONO DAY」には、ケーブルカーの運転手、観光案内所職員、土産物屋の店員など、高尾山で働くすべての関係者が着物（職種や季節によっては浴衣や甚平や作務衣なども含む）を着用し、話題性を高める。

2. 背景と動機

八王子最大の観光資源とも言える高尾山。ミシュランの三ツ星も獲得し、現在、高尾山商店会によると高尾山の観光客数は年間約250万人以上とも言われているが、過去二年間、その利用者数の伸びは頭打ちの傾向にある。たとえば、京王電鉄高尾線高尾山口駅の一日あたりの平均利用者数は2012年の10,690人をピークに、2013年は10,369人、2014年には10,089人とわずかながら減少傾向にある（東京都統計年鑑）。したがって、観光客をさらに増加させ、歴史ある高尾山の知名度を国内外でさらに高めることは、八王子市全体としても非常に重要な戦略となると考えられる。そこで今回は、八王子最大の観光資源である高尾山、八王子の伝統産業である織物や着物、八王子の伝統無形文化財ともい

える八王子芸者、関東最大の学園都市八王子における最大の人的資源ともいえる日本人学生と留学生、これらすべてを活用した町おこし戦略を検討、提案したいと考えた。

3. 企画の運営体制

TAKAO KIMONO DAY プロジェクトは、暑さや寒さの問題を考え、春秋二回、毎年恒例のイベントとして実施することを念頭においている。このイベント開催に向けて、まず、TAKAO KIMONO DAY プロジェクトを実行するための実行委員会を設置する。委員会メンバーには、行政として八王子市観光課、産業界からは着物関連企業関係者、高尾山商店会関係者、八王子芸者（置屋）関係者、着物を着用して国際交流をしたい学生ボランティアの代表などが加わる。

当プロジェクトに必要な主たる経費は広告宣伝費用、学生や高尾山関係者が着用する着物レンタル代金、会議所経費などが考えられるが、着物関連企業と高尾山の飲食店や商店から協賛をつのるほか、行政による資金援助の可能性も模索する。

4. イベント当日のサービス内容

冒頭で述べたとおり、「TAKAO KIMONO DAY」当日は、高尾山の山頂や麓の飲食店内において日本人学生と外国人留学生が外国人観光客に対して接客を行うとともに、プロの八王子芸者とともに簡単な芸事を披露する時間帯も設け、おもてなしを行う。この際、外国人留学生には、当然通訳としての役割も担ってもらふ。以上のサービスに加えて、着物を着た学生や芸者との記念撮影サービス、着物試着サービス、芸事体験サービスなどを外国人に対して提供する時間帯も設ける。

以上に加えて、話題性を高めるために、駅員、ケーブルカーの運転手、観光案内所職員、飲食店や土産物屋の店員など高尾山で働くすべての関係者が着物（職種や当日の天候によっては浴衣や甚平や作務衣なども含む）を着用する。

5. イベント参加者にとってのメリット

当プロジェクトに参加するメリットとして、日本人学生（女学生が中心）については、芸者から着物の着こなしかたや初歩的な芸事を学ぶ貴重な機会を得

られること、そしてひとりひとりが観光大使となり、高尾山を訪れる外国人に対しておもてなしを実践する経験を積めることが挙げられる。

留学生についても、芸者との交流や着物の着用など日本文化を学ぶ機会を得ることに加えて、イベント当日には通訳スタッフとしても貢献できる機会を得られる。

高尾山関係者にとってのメリットとしては、話題性と独自性の高いイベントを高尾山で実施することにより、観光客および各種売上のさらなる増加につながることを期待される。

八王子芸者やその置屋にとってのメリットとしては、八王子の伝統的な芸者文化を世界に発信する場を得られること、自身が所属する置屋の宣伝につながることで、そして学生や観光客との接点を増やすことにより、芸者人口の減少に少しでも歯止めがかかること等が期待される。

着物会社にとってのメリットとしては、イベント当日直後にただちに着物の売上増につながるような短期的利益を狙う企画ではないが、自社の着物を日本人学生、留学生、そして外国人観光客などに試着してもらい、着物の素晴らしさを体感してもらうことで、将来の潜在的な購買層を拡大するひとつの手段として当イベントを位置づけることができる。

最後に、高尾山を訪れる外国人にとってのメリットとしては、登山のついでに、着物や芸者という日本文化に気軽に触れられる点があげられる。京都市で実施された外国人観光客に対するアンケートでも、日本の伝統文化鑑賞・体験したい、中でも着物や浴衣の着用体験をしたいという観光客も多かったことから、着物を見るのみならず、記念撮影サービスや試着サービスについても一定のニーズがあると考えられる（経済産業省・和装振興研究会（2015）しらべ）。

6. おわりに

関連する先行事例としては、学生が芸者から座布団の座り方やふすまの開け閉めなど、美しい立ち居振る舞いを習うという岐阜県の事例、あるいは外国人が踊りや芸者遊びを体験するという御岳山の事例が存在する。しかしながら、我々が調べた限り、学生が芸者に直接指導を受け、芸を外国人に披露するという先行事例、あるいは山の関係者全体で着物を着用して登山客をもてなすというイベントの前例がない。したがって、今回の我々の企画には新規性と一定の

広報価値がともなっていると考えられる。

八王子の各種資源を最大限活用する今回の取り組みを通じて、登山のついでに着物やその他和文化に気軽に触れられる山としての国際的な認知度と地位を確立するとともに、着物、そして八王子そのものの名を世界に広めることも同時に目指していきたい。